

認知症 SOS 声掛け訓練

目 的	認知症に対する地域の理解	
開催にあたっての経緯	2018 年からコロナ禍を除き毎年開催。今年度で 4 回目の開催となる。	
実 行 メ ン バ ー	あんしんケアセンター天台 千草台団地自治会 千草台団地管理サービス事務所	
実 施 地 域	千草台団地	
開 催 日 時	令和 6 年 5 月 25 日（土） 9 時～12 時	
参 加 者 数	5 0 名	（内訳） 地域住民 20 名 スタッフ 30 名

開催までの流れ		
4 月 12 日	千草台団地自治会館にて打ち合わせ	センター職員、自治会会長、管理事務所（U R）
4 月 12 日	生活クラブ風の村稲毛にて打ち合わせ	認知症サポーター養成講座について打ち合わせ
4 月 16 日	チラシの確認 包括ケア推進課に依頼	ビブス・Q Rコード貸し出し依頼、認サポ計画書送付
	参加者・スタッフ募集	参加者は U R スタッフはセンターで取りまとめる
5 月 7 日	ビブス・Q Rコード・テキスト受け取り	
5 月 13 日	参加スタッフ確定、名簿作成	
5 月 16 日	センター内で当日の流れを確認	
5 月 24 日	会場事前準備	必要物品の運び込み、会場セッティング

必要物品及び入手先
（例：拡声器：●●小学校から借りる） テーブル、椅子、パソコン、プロジェクター、マイク（U R 管理事務所で管理） 認知症サポーター養成講座テキスト、アンケート、ビブス、Q Rコード（包括ケア推進課に依頼） 声掛け訓練ののぼり（社会福祉協議会稲毛区事務所に依頼） 名簿、当日配布資料、アンケート、筆記用具他（センターにて準備） お土産：認知症に関するパンフレット、お菓子、水（U R とセンターにて準備）

開催当日の流れ		
8:30	会場準備・受付	センター職員・U R 管理事務所職員
9:00	認知症サポーター養成講座	生活クラブ風の村稲毛の主任ケアマネによる講義
10:00	認知症声掛け訓練	訓練前にどこシル伝言板の説明
11:00	グループワーク	グループごとに話し合い発表
11:15	高齢者保護の現場について	千葉北警察署からの講和
11:45	終了	記念撮影後各自解散

開催風景

(写真と場面説明)

受付周辺



声掛け訓練



グループワーク



記念撮影



課題・反省

- ・去年と同様にセンター、自治会、U R 管理事務所との共同開催とした為、会場や物品の準備、集客なども役割分担して行うことが出来た。今後も同様の形での開催とする。
- ・前半に座学で認知症について学び、後半に実践として声掛け訓練を行うスタイルでの講座だったが、認知症サポーター養成講座のみを受けて帰ってしまう方が何人かいた。講座の趣旨がきちんと伝わっていなかった可能性もある為、次年度は集客の段階で講座開催の趣旨を丁寧に説明していく。
- ・認知症状のある方を困った人として捉えるのではなく、共に地域で暮らしていくにはどうしたら良いかといった考え方に焦点を当てて講座や訓練を行いたいといったこちら側の意向を、自治会、U R、認サポ講師等に事前打ち合わせで伝える事で、地域共生社会の構築と言った目標に沿ったイベントを行うことが出来た。
- ・千草台団地自治会での開催は 4 回目となるが、毎回参加してくれる住民の方もあり、毎回勉強になるといった意見もアンケートで聞かれた。次年度以降も毎年開催する方向で自治会やU R と調整していく。
- ・様々な年代の方に参加してほしい為、土曜日の開催にしていたが、地域の行事等と重なり集客率の向上にはつながらなかった。スタッフ確保の問題もある為、次年度からは平日開催についても検討していく。